

ボランティアコーディネーターミーティング開始される

5月18日(金)の中学校ボランティアコーディネーターミーティング(以下、VCM)を皮切りに、2012年度の第1回地区別VCMが始まりました。今年度は、中学校のVCにも小学校地区別VCMになるべく参加していただいて、より充実したVCMを目指しています。

情報の交換、意見の交換の場として、この会がますます重要な会になってきていると感じます。ボランティア人材の共有、活動の仕方や謝金の統一など、ボランティアコーディネーターが活動するに当たり、必要な情報について多く語られました。

中学校のVCMは、主に補習学習、部活動指導ボランティア、そして、キャリア教育について話し合われました。学校が以前に比べて開かれてきたという反面、なかなか中学校は授業の中に入っていけない、授業に入っこそ学力の定着に役立つのにといい意見もありました。

小学校は第1地区と第6地区のVCMが行われました。学校により様々な違いはありますが、すべてのVCが1年以上の経験を経て、みんな同じ土俵に上がってきたと感じます。それぞれの活動紹介、今年度の予定の紹介が行われる一方で、VCとしての立ち位置の不明確さに悩んでいる、地域と学校との窓口として依頼される範囲が広がりつつも、VCとしての役割に戸惑うという声も聞かれました。

学校支援センターとして明確に即答はできませんが、VCとして活動されたことが実績として積み重なり、学校にとってなくてはならない存在になっていることは事実です。それを多くの学校で展開することによって、立ち位置や活動範囲が決まってくると思います。課題としてもち続けながら、活動を積み重ねていきたいと思っています。



小山中の交流宿泊学習～仲間の絆づくりは焼きそばづくりから～

4月に開校した小山中学校から情報をいただき、4月27日(金)に小山中学校の交流宿泊学習(2・3年)取材しました。宿泊学習の会場は大地沢青少年センターです。

小山中学校の2年生と3年生は、3月まで忠生中・小山田中・堺中と別々の中学校で学んできた生徒達で馴染みが薄いので、生徒同士の交流を深めようと企画された活動です。前日の午後から同センターに宿泊していた2年生71名と3年生24名が取り組む活動は、「楽しいお料理講習会」です。レシピは「小山中思い出やきそば」、ご指導に当たってくださったのは「道とん堀町田店」の店長さんをはじめスタッフの方々です。この活動をコーディネートしたのは同校のVC、開校して間もない時期で行事を組むわけですから、コーディネートにはご苦労があったことと思いますし、たいへんありがたいことです。

さて、「楽しいお料理講習会」では、「道とん堀」のスタッフの方による焼きそばの作り方の説明のあと、調理の実演がありました。2年生にとってはひと足早い職場体験にもなり、キャリア教育の側面もあったと言えるかもしれません。



忠生小学校 金環日食観察

市内の多くの小中学校で、5月21日(月)に金環日食の観察が行われました。忠生小学校では、学校・PTA・おやじの会の呼びかけで、朝7時から8時までの間、希望者による観察が行われました。

当日はくもりがちで観察できるか心配でしたが、日食の時間が近づくと雲の切れ間から太陽が覗くようになり、薄雲がちょうどフィルターの役割を果たし、短時間ではありましたが全員が金環日食になった場面を観察できたと思います。

登校に付き添ってきた保護者・教員・卒業生・児童がみんな一斉に同じ方向を見上げているのは、めったに見られない光景でした。この経験が、宇宙に関する興味・関心につながってくれればと願っています。



鶴川二小の「カブトムシ育て」

5月2日(水)1~4校時に、鶴川二小3年生の総合的な学習「カブトムシ育て」を参観しました。カブトムシの幼虫が羽化するまでの観察用として、1人1ビンの幼虫のすみかを作る学習でした。

指導にあたったのは、同校の「親父たちの会」の方です。児童への説明はたいへんわかりやすく、これからカブトムシを飼育しようという意欲が高まっていく様子が見られました。説明の後、子どもたちはカブトムシの幼虫を1人1匹ずつさがし、幼虫の体重を量ったり、幼虫のすみかとなるビンに昆虫マットを詰めたりしました。はじめは「プニユプニユして気持ち悪い」とか「さわるのが苦手」と言っていた児童もいましたが、友達や大人の励ましもあって、ほとんど全員がさわれるようになっていました。当日は、保護者ボランティアと大学生のほか、カブトムシ育てを教材化しようとしている南つくし野小のコーディネーターの参観もあり、3年生にとって貴重な体験活動を盛り込んだ総合学習となりました。



ゆくのき学園大戸小学校訪問記

前述した第一地区のVCMは、新装成った小中一貫校「ゆくのき学園大戸小学校」で行われました。全体会のなかで、副校長先生に学校内を案内していただきました。様々なところに細かく手が入り、きれいな校舎になっていました。特にトイレや配膳室のきれいさ、ランチルームの広さ、ボランティアルームには感心しました。

また、余裕教室があり、ゆったりしていました。余裕教室をはさんで小学生と中学生との教室が同じ階にある光景には驚きました。校長先生は、両者が同じ学校で生活することには予想以上に相乗効果があるとおっしゃっていました。

小中一貫校開校がハード面だとすると、ソフト面は各小中学校のVCが連携して活動に取り組むことだと思います。昨年度あたりから始まっている連携した取り組みを、今年度は更に推進していきたいと考えております。

その第一歩として、小学校の地区別VCMに中学校のVCが参加すること、VCが小学校や中学校の活動に協力したり参観したりすること、9月末ころに行われる教員の小中合同部会に場を設定してもらい、VCが集まり協議することなどが考えられます。地区の実情に合わせてそれぞれが考え、行動を起こしてほしいと思っています。

桜美林大・青山学院大の教育ボランティアガイダンス参加

◇桜美林大学教育ボランティアガイダンス 4月25日(水) 16:50~

桜美林大学キャリア開発センターからの要請があり、このほど初めて「教育ボランティア

ガイドンス」に参加しました。町田市教委・指導課からは学校支援センター統括コーディネーター3名が出席し、教育現場でのボランティアに関心のある学生に活動を説明しました。会場には近隣市の教育委員会をはじめ小学校や中学校の担当者、大学生など5~60名ほど集まり、各学校・施設から各2分間のPRタイムのあと、10分×2回の各ブースに分かれての説明や質疑応答を行い終了しました。

ガイドンスから数日後、市内学校でのボランティア活動に結びついた学校もありました。これが契機となって、今後、学生と学校とのつながりが増えたら嬉しい限りです。

◇青山学院大学教育ボランティアガイドンス 6月1日(金) 17:50~

相模原市と町田市の教育委員会及び小中学校による、青山学院大学の教育ボランティアガイドンスに参加しました。以前までは指導主事が説明をしていましたが、今年度は学校支援センターが概要説明を担当しました。

そのあと、桜美林大学の時と同じように、各参加小中学校がブースに分かれて、10分×3回の説明や質問の時間を行いました。

学生が一步、足を踏み出すきっかけはなんだろうと思いつつながら、説明の様子を参観していました。一人でも多くの学生に応募してほしいと思っています。

事務連絡

①学校支援連絡会が開催されます

今年度の学校支援連絡会が、6月27日(水)午後、教育センターで開かれることになりました。当日は11の連携団体も参加予定です。連絡員の方は、ご予約を宜しく願います。後日、詳細をお知らせいたします。

②学校支援センターも新庁舎に引越します

町田市役所の新庁舎完成に伴い、学校支援センターも新庁舎10階の指導課内に引っ越すことになりました。引っ越しは7月6・7日、新庁舎での活動は、7月9日(月)からです。皆さんとお話等するスペースは別の場所になります。なにかのついでにでも、お立ち寄りください。

【住所】〒194-0022 町田市森野2丁目2番22号(予定)

【電話】042-722-3111(代表) 内線番号 未定

(8:30~17:00・・・昼休みを除く)

③FC町田ゼルビア出前事業

昨年度までは、「FC町田ゼルビア(アスレチッククラブ町田)」に出前授業を依頼するにあたり、書類での手続きは必要ありませんでしたが、今年度は申込用紙の提出が必要となるそうです。また、今までは一部の学校での実施でしたが、今後多くの学校で出前授業が行えるようにとスタッフを増やしたそうです。1学期中には校長会において申し込み用紙が配布される予定です。申し込みたい学校は、日時等、事前に考えておいてください。

④東京都研修会のお知らせ

今年度も、別紙のように学校支援事業の一環として「いま、あらためて“学習支援”の意味を考える ~教育課程を踏まえたコーディネートを目指して~」をテーマに研修会が開催されることになりました。今回はVCも対象です。学校支援連絡会の翌日になりますが、ご都合のつく方はぜひご参加ください。申し込む場合は、学校ごとにまとめFAXか電子メールで直接申し込んでください。参加される場合、学校支援センターにもご一報いただければありがたいです。